

(4) 毒草

※草や木には、毒のもっているものがあるので注意が必要です。

ウルシ（漆）のように体がかぶれたり、また、食べたために死んでしまう猛毒のものもある。

【ドクウツギ】（ドクウツギ科）

林の縁や川原などにはえる。夏から秋にかけて赤い実がなる。

この実を食べると死ぬことがあるので絶対に食べてはいけません。



【クサノオウ】（ケシ科）

4～7月開花 葉や茎を切ると乳液が出る、この液が毒といわれている。

【ハシリドコロ】（ナス科）

山地に生える猛毒植物である。

群生する。

花はナスの花に似ている。

〈桑取火地内で撮影〉



【ヤマトリカブト】

（キンポウゲ科）

道端や山地の林の縁などに生える。

茎は弓なりに曲がって、紫色の変わった美しい花を付ける。

根に毒がある。

ひのきはら
〈松原にて撮影〉